

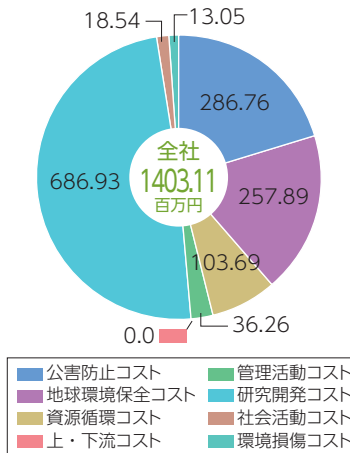
環境活動データ 環境会計

2012年度環境会計結果

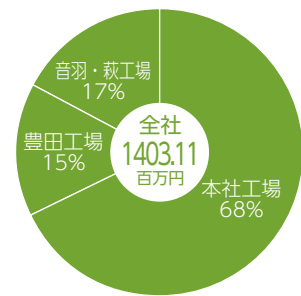
2012年度の環境保全コストは14億311万円(売上高の0.6%、前年度比14%減)でした。

前年度より全体的に低くなっていますが、豊田工場へのBOD処理装置の導入により公害防止コストが増加しています。また、環境負荷低減を目的とした研究開発に要した経費が増加しています。

コスト内訳(百万円)



工場別環境コスト内訳



項目	主な取り組み内容	(百万円)	
		投資額	経費
公害防止	公害(大気、水質、騒音等)防止に要した投資および経費	115.0	171.8
地球環境保全	温暖化防止に要した投資および経費	38.8	219.1
資源循環	廃棄物処理、廃棄物減量化、リサイクル化に要した投資および経費	3.6	100.1
上下流コスト	環境負荷の少ない製品、燃料および原材料等の購入に伴い発生した差額	0.0	0.0
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの構築・運用、環境負荷の監視・測定に要した投資および経費	0.0	36.3
研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発に要した投資および費用	5.9	681.0
社会活動コスト	自然保護・緑化・美化等の環境改善対策等に要した費用	0.0	18.5
環境損傷コスト	環境汚染の修復費用、環境損傷の保険料等	0.0	13.1
		小計	163.3 1239.9
		合計	1,403.11

環境会計効果の分析

環境保全対策による経済効果額は前年度比71%増となりました。これは主にリサイクル材売却額の増加によるものです(リサイクル材売却物の増加と売却単価の見直しによる効果)。

環境保全対策に伴う経済効果

効果の内容	物量	効果額(百万円)
リサイクル材売却額(鉄、非鉄、プラスチック、油等)	12,302t	1,936
省エネルギーによる効果(前年比)	2,102t-CO ₂	-56
廃棄物処理等の低減(前年比)	-2.26t	0
合計	—	1,880

※環境保全対策に伴う経済効果は金額効果と物量効果で調査(調査期間…2012年4月～2013年3月)

環境会計の考え方

環境コストは発生したときの支払ベースで把握・集計しています。したがって、設備投資は投資額として把握し、減価償却費は計上していません。環境以外の目的と併せて実施しているものについては、按分により計上しました。環境保全活動に伴う経済効果については、各年度に費用低減額が確実に把握できる3項目で集計しました。

※省エネルギーの効果額は前年度の比較で原単位に基づく改善量を計上しました。

※各数値は四捨五入のため、個々に足した値と合計額が異なる場合があります。